

令和5年2月 第2回定例庁議

- 1 開催日時 令和5年2月15日（水）午前9時30分～午前11時45分
- 2 開催場所 4階特別会議室
- 3 付議事項（第6条）

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

令和5年度当初予算について、2月20日（月）に市議会での勉強会を開催し、記者会見で発表する。今月末27日（月）からは3月議会が始まるので準備をお願いします。

(2) 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

①第五次定員適正化計画（案）について（市長公室長）

令和5年度から4年間の職員数の考え方や目標を定めた定員適正化計画（案）を作成したので、部内で周知いただき、ご意見等がある場合は今月中にお願いします。人口減少に伴って職員数を合わせることを基本としつつも、行政需要が多い中、当面は職員数を維持したいと考えている。4年間の職員数の目標は980人とするが、コロナ対応のほか、定年延長によって2年に一度退職者が発生することなどを踏まえ、1%程度は増減がある想定で考えている。2月3日（金）に市議会全員協議会で説明し概ね理解を得ている。職員数が限られる中で、今後も行政需要は拡大する可能性があり、新年度の新規事業への対応も必要である。DXや民間活力の活用、業務の見直しによって浮いた人員を行政需要に回していきたいと考えているので、そうした視点も意識していただきたい。

（資料に基づき説明＝市長公室職員課長）

②業務継続計画（BCP）の改正について（市長公室長）

庁内での確認作業を終え、計画案を作成したので確認をお願いします。内容は会計年度任用職員も含めた実人員で定めている。専門職でないと対応できない業務もあるが、一般職で対応可能なものは通常業務を遅らせて災害対応業務に回すなど、災害時には臨機応変に対応いただきたい。

（資料に基づき説明＝市長公室危機管理課長、防災アドバイザー）

③公共施設等総合管理計画の改訂（案）について（総務部長）

平成28年度に計画を策定した後、各施設所管課において個別施設計画の策定を順次進めてきていただいていたところである。今回国の方から、個別施設計画の内容等を反映した見直しを行うよう要請があり、中間見直し案を作成したので確認をお願いします。

今後、個別施設計画が未策定の部署は早期に対応いただきたい。また、市内各施設の個別施設計画を一括して確認できるようデータを整理してお示しする予定であるので、他部署の所管施設の計画も確認し、統合、集約、複合化など考え方を参

考にしていきたい。

(資料に基づき説明＝総務部庶務課財産管理担当長)

- (3) 報告事項 (市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること)

なし

4 その他

- ①地域防災計画の修正について (市長公室危機管理課長)

庁内各課や県との調整を経て修正したので確認をお願いする。3月予定の防災会議で正式に決定する予定である。

(資料に基づき説明＝市長公室危機管理課防災アドバイザー)

- ②第75回香川丸亀国際ハーフマラソン大会の結果について

(市民生活部スポーツ推進課長)

土曜日の3kmレースと小学生駅伝、日曜日のハーフマラソンを合わせて7,858名の申込があり、当日は6,924名に出走いただいた。3年前に開催した第74回大会に比べて参加者数は減少したが、無事開催することができ安堵している。応援いただいた職員にお礼申し上げる。

- ③パブリックアートガイドライン(案)について(産業文化部文化課副課長)

文化芸術基本計画に基づき、パブリックアート設置にあたってのガイドライン(案)を作成したので確認をお願いする。今後、庁内及び文化芸術推進審議会に意見照会したうえで策定する予定である。

・アートの押し売りのようなケースもよくあるので、施設所管部署が対応する上での基準も検討いただきたい。(教育部長)

→判断のプロセスをガイドラインの中で示したい。

- ④歴史的資源を活用した観光まちづくりセミナーについて(教育部長)

令和2年度から取り組んでいる城泊事業の一環として、2月23日(木・祝)13時からマルタス多目的ホールで開催する。全国でニッポニアホテル等を展開し、城泊の専門家派遣事業にも携わっていただいたバリューマネジメント株式会社の他力野社長による講演のほか、文化庁や観光庁の職員にも参加いただく。城泊だけでなく、市全体の文化財の保存と活用による観光まちづくりについて掘り下げていく内容となっているので周知等をお願いする。

- ⑤春季火災予防週間における行事について(消防長)

3月1日(水)から7日(火)までの春季火災予防週間の取組として、丸亀市出身のグラビアアイドル乙陽葵(おつ ひまり)さんを一日消防署長に委嘱し、防火広報活動を行う。

・過去にはどんな人が務めたか。(副市長)

→本市では、一日消防署長の委嘱は初めてである。

・ボートレースや観光面などで協力してもらった事例はこれまでも同様のケースはあ

ったが、批判的な意見が出る可能性はある。(市長公室長)

⑥中方橋の開通について(都市整備部長)

県が災害復旧を進めてきた中方橋について、3月19日(日)午前6時に新しい橋りょうが開通する。前日18日(土)午前11時から、地元の川西、飯山南コミュニティの主催により完成記念式典が開催されるのでお知らせする。

⑦第74回丸亀お城まつりについて(産業文化部長)

例年どおり5月3日、4日開催で進めている。応援職員は個別に依頼するので協力をお願いします。

- ・初めての職員も多いので経験者だけに依頼する点については検討していただきたい。(モーターボート競走事業管理者)
- 来年度から観光協会に委託したいと考えているため、慣れた方でないと業務が回らない面はある。今後は従事職員の新陳代謝も必要であると考えている。

⑧若手職員まちづくり研究チームの活動報告について(秘書政策課長)

今年度任命したチームより、研究の成果を報告する。

(第7期若手職員まちづくり研究チーム＝資料に基づき説明)

テーマ：クラウドサービスを活用した業務改革

～市民が利用しやすく、職員が働きやすい市役所の実現に向けて～

- ・アプリで実証したのは学校施設開放事業のみか。かがわ電子自治体システムや国のぴったりサービスの実際の運用はどうか。(副市長)
- 庁内アンケートのアプリも試作している。自治会の異動届は、かがわ電子自治体システムを活用しており、運用までできる状態である。
- ・研究成果の報告は総論的で方向性を示すものが多かったが、実務レベルに落とし込みができてるのが素晴らしい。情報の管理や共有、加工などはクラウドを活用するのがトレンドであるし、この方向性で業務の効率化に各部署で率先して推進していただきたい。(副市長)
 - ・本来業務がある中で研究に取り組んでいただきお礼申し上げる。デジタル田園都市丸亀を目指す中で、市民にとって便利で、職員が効率的に業務に取り組めるという目的を達成できるものである。(市長)
 - ・ぜひ一部でも進めていただきたいが、それぞれの担当部署とは協議していないのか。(モーターボート競走事業管理者)
- 学校施設開放事業はスポーツ推進課から情報政策課へ相談を受けていた案件で、今回の提案をありがたく感じており、情報政策課も入りながら実現に向けて進めたいと考えている。その他の研究事例にもあるように、クラウドの活用は今後必要なスキルである。(情報政策課長)

5 副市長から

市議会3月定例会を前に予算は固まり、後は説明と審議を残すのみである。最終段階で予算の修正が生じるのはよくあることではあるが、今回については、県や近隣市町の動向の捕捉が十分でなかった点が原因であることは否めない。特に県は知事が変わり、新しい機軸での施策を実現しようとしているところであり、報道レベルで情報

把握をしていたのでは、それを踏まえた事業提案が難しい。県の考えや他市町の対応などを報道前に情報収集した場合は、自らの事業へ照らし合わせて見直しを検討し、事業提案する必要がある。3月定例会の中で、議会からの質問に合わせてたちまち新たな修正が必要になるようなケースがあるかもしれないが、できる限りアンテナを高くして情報収集には留意していただきたい。

6 教育長から

学校は年度末のまとめの時期となっている。本日午後からは教育委員会表彰を予定しており、個人・団体合わせて116件の表彰を行う。子どもたちの活躍を表彰する機会に、非常にありがたいし、喜ばしいと感じている。学校からの状況報告によると、コロナが徐々に落ち着いて行事等が行われることで、学校が楽しいという声が多く聞かれるようになったとのことである。学校のイベントや行事の一覧を見ると、様々な部署にお世話になっているとあらためて感じたのでお礼申し上げます。

7 モーターボート競走事業管理者から

先週、ボートレース鳴門でG I 四国地区選手権大会があり、優勝戦は6艇のうち5艇が香川支部の選手という状況の中、丸亀出身の若手で丸亀高校卒業生でもある中村日向選手が見事初優勝した。3月にはSGレースのボートレースクラシックに初出場することが決まっており大変喜ばしいと感じている。昨年のボートレースメモリアルで優勝した片岡選手以降、香川支部の選手の活気が出てきている。ボートレース場で若手選手の様子を見たり応援してもらいたいので職員にもぜひお知らせいただきたい。

8 出席状況

(1) 庁議構成者（第5条）

職	氏名	出欠
市長	松永 恭二	○
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート競走事業管理者	大林 諭	○
市長公室長	山地 幸夫	○
総務部長	栗山 佳子	○
健康福祉部長	奥村 登士美	代
市民生活部長	田中 壽紀	代
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業文化部長	林 裕司	○
ボートレース事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	七座 武史	○

消 防 長	浪 指 孝 章	○
議 会 事 務 局 長	渡 辺 研 介	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室職員課長	徳 田 寛
総務部財政課長	宮 西 浩 二
健康福祉部長代理	
健康福祉部福祉課長	高 木 和 弘
市民生活部長代理	
市民生活部生涯学習課長	谷 本 智 子
市長公室危機管理課長	満 尾 隆 弘
市長公室危機管理課防災アドバイザー	増 田 恭 士
市長公室情報政策課長	村 山 智 彦
総務部庶務課長	山 下 友 通
総務部庶務課副課長	森 信 博
総務部庶務課財産管理担当長	松 永 弘 樹
総務部庶務課主事	佐 野 大 介
市民生活部スポーツ推進課長	奥 田 孝 彦
産業文化部文化課副課長	石 川 真 司
（第7期若手職員まちづくり研究チーム）	
議会事務局主任 宮田 篤（リーダー）	
市長公室情報政策課副主任 野村 佳輝（副リーダー）	
都市整備部建設課主事 兼田 彩芽（副リーダー）	
市長公室秘書政策課副主任 安藤 悠子	
総務部庶務課主事 佐野 大介	
健康福祉部子育て支援課副主任 高畑 楓子	
健康福祉部健康課主任 松野 裕樹	
市民生活部生活環境課副主任 長尾 未愛	
都市整備部下水道課主事 原 義英	
産業文化部産業観光課主任 横井 俊介	

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策課政策マネジメント室長	高 倉 鋭 悟
市長公室秘書政策課政策マネジメント室総括担当長	宇 野 大志郎
市長公室秘書政策課主任	大 川 智
市長公室秘書政策課副主任	安 藤 悠 子